韮崎ジャーナル

株式会社ピー・エス・ワイ
韮崎ジャーナル編集部
発行責任者　小泉　徹
〒407-0015
韮崎市若宮1-3-18若宮ビル2F

2016年5月10日 創刊　　発行日：毎月5日発行
TEL0551-45-6885（代）　FAX0551-45-7370
人口27,230人〈男13,632人（-25）、女13,598人（0）〉　13,008世帯（-3）（10月1日現在）

創業昭和5年
井筒屋醤油株式會社
韮崎市本町2丁目9-26
TEL.22・2255（代）

韮崎市長選挙 11月8日告示、15日投開票

新人３氏が、立候補表明

11月27日に任期満了を迎える韮崎市長選挙は、11月８日告示、15日に投開票が予定され、新人３氏が競り合う三つどもえの選挙の公算が大きくなっている。３陣営では支持拡大を目指した前哨戦が激しさを増しているが、立候補を予定している３氏が訴える政策が、似た傾向になっていることもあって、「判断に迷う」という有権者の声もある。今後４年間のかじ取り役を誰に託すのか、有権者の審判に関心が集まる一方で、立候補予定者の訴えが、どこまで浸透するのか注目されている。

立候補予定者の顔ぶれ



無所属＝新人
石河　一郎
平成5年3月15日生まれ
33歳、穴山町487
9番地



無所属＝新人
小沢　栄一
昭和39年4月10日生まれ
62歳、藤井町北下條
1712番地2



無所属＝新人
内藤　正之
昭和30年8月29日生まれ
71歳、龍岡町下條東割830

主な政策

①子ども・若者が未来を描ける―子育ての負担をゼロへ②高齢者が安心して暮らせる―車がなくても行きたい場所へ③現役世代が便利に暮らし、働ける―毎日の通勤・移動をもっと便利に④まち全体が稼ぎ、にぎわう―ふるさと納税を町の力になど。

①子ども・子育てを最優先―妊娠、出産、子育ての切れ目ない支援②若者・女性が輝くまちへ―地元就職・起業を応援③地域経済を元気に―農業・商工業を応援④安心して暮らせるまちへ―防災・減災対策の強化など。

①移住・定住者の住環境整備―市内企業就職者の市内移住を促す施策②市立病院、赤字経営の改善―診療科目の再構築、健診事業の拡充③基幹産業の振興―後継者対策とインフラ整備による生産力の向上④慢性的な交通渋滞の緩和など。

有権者の市長選に対する反応はさまざまで、「無尽会で選挙の話になるが、３人の主張が似たり寄ったりで目立った争点が見えない」（60代男性）や「政策だけを見ると主張に大きな違いがない分、どのように票が割れるのか気になる」（40代男性）という声がある。

また、「市長への期待は高まるが、知人、友人とも市長選の話にならず、関心が薄く感じる」（70代女性）、「子育てや人口減、財政の立て直しなど、喫緊の課題を解決する具体案を持つ人を選びたい」（60代女性）などの声が本紙に届いており、立候補予定者の訴えが有権者にどこまで浸透するのか、投票率も含めて注目される。

JC公開討論会

一般社団法人韮崎北杜青年会議所（浅川亮理事長）は、任期満了に伴う市長選を前に、10月22日、東京エレクトロン韮崎文化ホールで「韮崎市長選挙公開討論会」を開き、立候補を予定している3氏（表参照）を迎えた。

公開討論会は、来場者参加型で進められ、立候補を予定している3氏と来場者に「○」、「×」のプラカードが配られ、質問に対して来場者も○×で意思表示するとともに、立候補予定者が互いに質問し合うクロストークも行われた。

主な質問では「韮崎市の財政状況はこれまで以上に厳しくなると考えますか」や「市立病院について、現在の医療機能を維持するためであれば、市の財政負担が増えることもやむを得ないと考えますか」、「若者・子育て世代の定住を促すため、他の世代よりも重点的に予算を配分すべきだと考えますか」などで、立候補予定者が自らの考えを紹介し、来場者は耳を傾けた。

選挙説明会

韮崎市選挙管理委員会（下村貞俊委員長）は、10月14日に「韮崎市長選挙立候補予定者説明会」を市役所で開き、立候補を予定している3陣営が出席し、手続きの方法や選挙運動の注意点などを出席者に説明した。市選管によると、9月1日現在の選挙人名簿登録者数は2万3447人（男1万1664人、女1万1783人）。

こども選挙実行委員会

小中高校生の声も市政に

16年ぶりに行われる韮崎市長選挙の日程に合わせて、選挙権のない子どもたちが投票することで、韮崎市の政治への関心を高め、将来の投票率アップにつなげたいと、青少年育成プラザ「ミアキス」に集う中学生と高校生7人が、こども選挙実行委員会を組織し、子どもたちを対象に本物の選挙と同じような選挙体験を目指している。

このこども選挙実行委員会の三浦光瑛実行委員長（高校2年）は、「選挙についてはよく分からないが、親がテレビの選挙速報を見ていたこともあって関心があった」といい、他県でこども選挙の取り組みがあることを知り、16年ぶりの市長選挙に合わせて子どもによる選挙を行おうと、9月から準備を進めている。

投票できる対象者は、小学4年（10歳）～17歳までとし、市長選挙の日程に合わせて、9日から14日までの午後4時～8時まで期日前投票を受け付ける。15日の市長選の投票日も午前10時～午後7時まで投票できるようにするという。（写真）



投票箱はササキニコリ地下1階のミアキス前に実際の選挙で使う投票箱を設置して、子どもたちに一票の大切さを伝えることにしている。

実行委員会のメンバーや協力者たちは、こども選挙を実施するに当たって、他県のこども選挙の状況を学びながら、子どもの選挙運動の禁止、人気投票の事前公表の禁止、公平性とはどういうものか、本名の使用の禁止など、さまざまな制約を学びながら準備を進めており、投票所には、実際の立候補者が掲載されている選挙公報を掲示する計画。

また、今回の活動費を捻出するため、「for Good」というクラウドファンディングを利用しており、目的や投票する意味、これまでの活動などを紹介しながら支援者を募っている。インターネットから「にらさきこども選挙」を検索すると「まちの未来へ一票を。10歳～17歳対象の『こども選挙』を開催！」と表示される。問い合わせは左のQRコードから。

クラウドファンディング

住宅の屋根・外壁の塗り替え・広告看板
有限会社 甲文堂塗装看板店
●塗装工事部 ●看板工事部　山梨県知事許可　般ー28第7094号
韮崎店 〒407-0013 山梨県韮崎市中島一丁目9-16 TEL/0551-22-1165 FAX/0551-23-5355
北杜店 〒408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪2591 TEL/0551-47-5245 FAX/0551-23-5355

安置専用施設２室新設
24時間365日 直接安置可能

24時間365日受付
お気軽にご相談ください
セレオホール韮崎
0120-282-365

内科・消化器科
岩下内科医院 TEL.0551-45-8890 FAX.0551-45-8891
韮崎市若宮1-2-50　韮崎市民交流センター（ニコリ）3F

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前　9:00～12:00	休み	●	●	●	●	●	休み
午後 15:00～18:00	休み	●	●	●	●	●	休み

ずっとストレスのない家づくり
志村建設株式会社
・・・・・夢をカタチに・・・・・
一級建築士事務所
〒407-0003　山梨県韮崎市藤井町北下條1904
・韮崎で100年！地域密着型工務店！
・県内トップレベルのゼロエネルギー住宅！
・新築・リフォームご相談ください！
ZEH builder 3年連続獲得！
LIXIL MEMBERS CONTEST 2023 ベストエコロジー賞受賞！
HomePage
Instagram


「わんわんイベント」開催！
犬の掛け紙付き生信玄餅 1,296円
韮崎店限定！
小さな足跡にキュン
肉球の焼き印付き酒まんじゅう 170円
金精軒　韮崎市中田町小田川154　☎0120-37-0869

音楽通し、心豊かに
市内小中学校でコンサート

一般財団法人仲田育成事業財団（古井明男理事長）は、市立穂坂小学校の体育館を会場にして、10月21日、「ピアノとチェロのデュオコンサート」を初めて開き、児童38人や保護者6人などが美しい調べに耳を傾けた。

このコンサートは、2024年に茅崎市内の小中学校全7校に同財団が寄贈したグランドピアノ（茅崎北西小は校歌額）を活用して、音楽への関心を高め、豊かな感性を育むことを目的に開かれているもので、12月16日までに全ての小中学校を巡回するという。

当日は、ピアニストの小林侑奈さんとチェリストの内田麒麟（きりん）さんを奏者に迎え、あいさつに立った小林さんが、「皆さんに音楽の素晴らしさを知ってほしいです」と話した。


グランドピアノを使ったデュオコンサートの様子

コンサートは、「映画『サウンド・オブ・ミュージック』より『私のお気に入り』」で幕が上がり、「トロイメライ」や「子犬のワルツ」など、8曲を演奏。また、ピアノやチェロの歴史や構造、音の出し方などを紹介し、アンコールでは「ライラック」を披露して、大きな拍手が送られた。

大柴陽之進さん（6年）は、「穂坂小はブラスバンドをしているので、音の強弱やリズムを合わせるところを勉強できました。ピアノとチェロの演奏を生で聴くことができて、とても貴重な体験でした」と笑顔で話した。

仲田育成事業財団は、茅崎市出身の故仲田貞次氏の「青少年の人材育成と山梨県の発展向上に寄与してほしい」との遺言をもとに1991年に設立されたもので、奨学金制度と青少年育成事業を行っている。

駅からハイキング
16カ所巡るコース設定

JR茅崎駅周辺の魅力を知ってもらおうと、茅崎駅と一般社団法人茅崎市観光協会は、11月14日からウオーキングイベント「駅からハイキング『にらさきさんぽ～昔と今をつなぐ街歩き～』」を実施する。来年2月28日まで。

このウオーキングイベントは、昨年秋に実施した同イベントに延べ約70人が参加し、「ほかの場所にも巡りたい」や「またやってほしい」といった声が寄せられていたことから新たにスポットを追加して企画された。

コースは、ササキニコリ（旧茅崎市民交流センターニコリ）をスタートし、中央町の雲岸寺・窟観音堂や茅崎平和観音、茅崎市民俗資料館など16カ所を巡り、茅崎駅にゴールする約6・5キロのコース（所要時間約3時間）となっている。

また、観光施設のほかにウオーキングコース上にあるカフェやピザ店、酒店などの店舗で商品の割引やドリンク1杯無料などの特典がある。

参加は、スマートフォンアプリ「駅からハイキング」をダウンロードしてアプリ内の「コースを探す」から「茅崎」と検索するか、ニコリ1階の地域情報発信センターの窓口でA3判のマップを受け取る。参加は無料だが、アプリのデータ通信料は参加者の負担になる。

茅崎駅の担当者は、「茅崎駅周辺は、古い歴史のある場所や新しい店もあり、市民には新たな発見ができると思う。ゆっくり寄り道しながら歩いてほしい」と参加を呼び掛けている。

問い合わせは☎22・1991まで。


駅からハイキングのマップ

野外コンサート
茅崎市民合唱団

10月25日、茅崎中央公園野外音楽堂で茅崎市民合唱団（林紘子団長）による野外合唱コンサート「秋日和にコーラスを」が開かれ、団員17人が約80人の観客を前に美しいハーモニーを披露した。

この野外コンサートは、日頃の練習の成果を披露する場や自然を感じながら音楽に触れてもらう機会として、2022年から春と秋に開いているもので、今回で8回目を数えた。（写真）

当日は、あいにくの雨の中、林団長が「本日は足元の悪い中お越しいただきありがとうございます。今日のために練習してきた成果をお見せしたい」とあいさつし、童謡「もみじ」や「赤とんぼ」などの秋の歌を紹介した。

また、「もしもピアノが弾けたなら」や「異邦人」のポップスや合唱曲など、全17曲を雨音に負けない美しい声と息の合った歌声を披露し、来場者から大きな拍手が送られた。



もみじカフェ開催
高齢者がゲーム楽しむ

市内の高齢者を対象に、交流の場や憩いの場をつくろうと、10月22日に東京エレクトロン茅崎文化ホール会議室で、初めて「もみじカフェ」が開かれ、市内の高齢者約20人がゲームや茶話会で交流を深めた。（写真）

この「もみじカフェ」は、中田町で「小田川カフェ」を運営する今福恵美さん（明野町在住・64）が発起人となって、今年9月に市民6人で発足した市民団体「つながり～みんなでやるじゃん～」が運営。市の長寿介護課や茅崎市社会福祉協議会も協力している。

当日は、3つのグループに分かれて「くろひげ危機一髪」や「ジェンガ」、「パズル」などのテーブルゲームで交流し、ゲーム後の茶話会では、夕食の献立や身の回りの困りごと、健康の秘訣、趣味などの話題で盛り上がった。

藤井町から参加した近江園征子さん（81）は、「移住者なので仲間づくりのために参加しました。初めて会う人たちが多くても、ゲームやお茶を楽しめて、次も開いてほしい」と笑顔で話した。

今福さんは、「高齢者が集い、和気あいあいと交流する場所が増えればうれしい。もみじカフェの運営ボランティアに興味がある人も声をかけてほしい」といい、「市内の公民館を会場にして定期的に開催したい」と話している。問い合わせは☎090-7235-2686（今福）まで。



タウンミニ情報

■穂坂自然公園イベント
穂坂自然公園ふれあいセンターでは、11月15日、「秋の風景を切り取ろう！写真の撮り方講座」（参加費300円）を開く。また、21日は「自然素材でクリスマスリースづくり」（500円）。29日は「燻製づくり講座」（同）を行う。各回午前10時開会。問い合わせは☎37・4362まで。

■U－3サッカーフェス
茅崎市子育て支援センターにちちびは、11月23日に茅崎中央公園芝生広場で「U－3親子サッカーフェスティバル」を開く。対象は3歳以下とその親で定員100組（要予約）。参加無料。午前10時開会。詳しくは☎23・7676まで。

★武田の里音楽祭
東京エレクトロン茅崎文化ホールで12月13日、「第30回武田の里音楽祭～思いは時空をこえて～」が開かれる。一般1000円（中学生以下無料・要入場整理券）。午後2時開演。問い合わせは☎30・0510まで。

■お口の健康フェスタ
茅崎市歯科医師会と市は共催で、11月8日にササキニコリで「お口の健康フェスタ2026」を開く。参加無料。午前9時30分開会。詳細は☎23・4310まで。

■彩色ボランティア募集
茅崎市中央公民館では、「茅崎の民話　大型紙芝居制作」の彩色ボランティアを募集している。活動は12月8日～来年3月9日までの期間で全10回。各回開会時間は午前10時。問い合わせは☎20・1115まで。

★アドベントの音楽
11月28日、合唱団「甲府コレギウム・アウレウム」による「アドベントの音楽～バッハ&ヘンデル～」が、高根町の八ヶ岳やまびこホールで開かれる。入場料は4999円で午後1時30分開場。問い合わせはメールkabe.648@icloud.comまで。

■親子料理教室
「親子お楽しみ料理教室」が、12月12日に茅崎市保健福祉センターで開かれる。対象は市内在住の小学生親子。定員10組（先着順）。申し込みは11月27日まで。参加無料。午前10時開会。問い合わせは☎23・4310まで。

★大正琴部発表会
茅崎市文化協会大正琴部による発表会が、12月8日に東京エレクトロン茅崎文化ホール小ホールで開かれる。入場無料。午後1時10分開演。問い合わせは☎22・4111まで。

■ボッチャ教室
11月15日にササキニコリで茅崎市身体障害者福祉会による「ボッチャ教室」が開かれる。参加無料。午前9時30分開会。詳細は☎22・6944まで。

■減災リーダー研修会
ササキニコリで12月6日、市主催の「地域減災リーダー育成研修会・普通救命講習会」が開かれる。対象は市民、または在勤、在学の人。午前9時30分開会。詳細は☎45・9368まで。

■もみじウオーク
「増富もみじ祭りウオーク」が、11月8日に開かれる。午前8時にみずがき湖ビジターセンター集合。14キロと10キロの2コースを選べる。参加費1500円（未就学児無料）。当日参加可。詳細は☎30・7866まで。

■公開講座
茅崎市立大村記念図書館と放送大学共催の公開講座「地域の『魅力』はどこにある？―身近な資源の活かし方」が、11月7日にササキニコリで開かれる。講師は山梨大学の菊地淑人准教授。定員40人で要予約。参加無料。午後1時30分開会。問い合わせは☎0551-2238まで。

■生涯学習フェスタ
東京エレクトロン茅崎文化ホールで11月7日と8日に「茅崎市生涯学習フェスタ2026～発表・体験・食部門～」が開かれる。参加無料。両日ともに午前9時30分開会。また、ササキニコリでは、8日まで「展示部門」が開かれている。開館時間は午前10時～午後3時まで。問い合わせは☎45・7209まで。

■企画展関連講座
茅崎市ふるさと偉人資料館では、企画展「昭和100年を迎えて　茅崎市の人とくらし」に合わせて、12月11日、企画展関連講座「あなたの思い出、聞かせてください」をササキニコリで開く。定員30人（先着順）。午後1時30分開会。問い合わせは☎21・3636まで。

■認知症講座
12月6日にササキニコリで「認知症地域公開講座ニにらさき」が開かれる。講師は秋山巖氏と森彰司氏。定員100人。参加無料。午後1時30分開会。詳しくは☎23・4313まで。

■親子でパンづくり教室
ササキニコリでは、11月29日に「親子であそびパンづくり教室」を開く。講師は野田ひろみさん。定員8組（要予約）。参加費1500円。午前10時開会。問い合わせは☎22・1121まで。

■己書教室
ササキニコリで毎月第一月曜日に己書教室「自由に描くあなただけの書」が開かれている。講師は日本己書茶夢道場の樋口さゆり代表。参加費2200円（初回1100円）。午前10時開会。詳しくは☎090-3517-0000まで。

■合同作品展
山梨県教育会茅崎支部と山梨県退職公務員連盟茅崎支部は、11月27日～29日に「合同作品展」をササキニコリで開く。入館無料。開館時間は午前10時30分～午後5時。問い合わせは☎22・5790まで。

■経営者の集い
茅崎市商工会館で11月9日、茅崎市倫理法人会の「経営者の集い」が開かれる。テーマは「会社は変えない、自分を変える」。参加無料。午後6時30分開会。詳細は☎080-4250-1242（青山）まで。

部員増強で、全国１位に

韮崎市商工会青年部

韮崎市商工会青年部（藤巻大仁部長）の部員数が、青年部員増強運動期間の２０２５年10月～26年９月の間に、12人から１３３・３％アップの28人に増え、増加率で全国１位になったことから10月27日に東京国際フォーラムで行われた「商工会青年部・女性部全国組織化60周年記念大会」で表彰された。


全国１位の表彰状を手にする藤巻部長

藤巻部長は、「表彰はうれしいが、部員の増加は通過点。部員それぞれの職種や能力を生かしてもらいながら独自のイベントを今冬に開けるよう準備を進めていく」と目標を語り、「若い力で地域を盛り上げる仲間を今後も募っていく」と話している。

同商工会青年部は、近年会員が減少し、青年部としての活動の縮小や認知度の低下、部員同士の交流の減少など、藤巻部長をはじめとする部員たちに「存続危機」のムードが漂っていた。

「青年部の部員を増やして、市民に活動を知ってもらおう」と、昨年５月からは、ＪＲ韮崎駅周辺などで、慈善活動と広報を兼ねたごみ拾い活動を実施したり、飲食店や事業所などの経営者に声かけて部員の増加につなげていったという。

都内で開催された「商工会青年部・女性部全国組織化60周年記念大会」は、全国から４０００人以上が集まる最大規模の事業で、記念式典や主張発表大会、基調講演、５分間で事業の強みや魅力を紹介する「商人ネットワーク」などが行われた。

商工会青年部は45歳までの事業主や後継者が所属して、地域振興や部員同士の交流、資質向上を図っており、部員の募集を随時行っている。詳しくは韮崎市商工会☎22・２２０４まで。

スイッチバックがあった時代　県立大学が、報告会

山梨県立大学の学生が、ＪＲ韮崎駅にスイッチバックがあった時代の韮崎市民の暮らしについて調査してきた内容をまとめた冊子「韮崎駅がスイッチバックだった時代と市民の暮らしを繋ぐ」（２０００円税込）を発刊し、10月24日に「地域研究報告会」を、ササキニコリで開いた。


スイッチバックの線路の場所を紹介する学生

この冊子は、同大学の安藤ゼミの内藤潤さん（62・3年）が発案し、５人の学生とともに、今年６月～８月まで、１９７０年代の韮崎駅や当時の市民がどのような生活をしていたのかを調べ、まとめたもので、Ａ５判の２７１㌻になっている。費用はクラウドファンディングで賄った。

24日に開かれた研究報告会には、関係者約10人を前に韮崎駅がスイッチバックだった時の線路の特徴や新旧の駅のホームが並存して運用されていた時期があったことなどを紹介。また、『スイッチバック大全』という著書の記述にもあるが、都市の中心駅にスイッチバックがあることは全国的にも珍しい」と語った。

参加した千野克己さん（90）は、「自分も韮崎駅とともに生きてきたので、懐かしい思い出が蘇った。史実に合っていると感じる」と話した。

問い合わせは☎０９０-９９３８-９６７５（内藤）まで。

甘利山で　美化活動　１４４人参加



甘利山のレンゲツツジや景観維持を目的にした「第18回甘利山クリーン大作戦」（韮崎市主催）が、10月31日に甘利山駐車場から山頂までの登山道周辺で行われ、市内の16団体や個人計１４４人が参加した。

このクリーン大作戦は、甘利山駐車場に続く県道６１３号甘利山公園線が11月下旬に通行止めになることに合わせて、毎年行われているもので、市の広報や回覧板などで参加者を募った。

当日は晴天に恵まれ、13エリアに分かれて作業を実施し、レンゲツツジの根元に生えたミヤコザサやワラビなどを手鎌で刈り取ったり、刈り払い機で登山道周辺のササを刈る作業に汗を流していた。（写真）

藤井町から参加した大塚まゆみさん（67）は、「最近甘利山に登る機会が減ったので、久しぶりに頂上まで来た。少しでもレンゲツツジがきれいに咲いたり、景観の維持の役に立てばうれしい」と話した。

甘利山の自然や景観を守っているＮＰＯ法人甘利山倶楽部の会員によると、「最近はレンゲツツジの周辺にワラビが群生しており、発芽を阻害しているので、多くのメンバーが参加してくれて助かる」と語った。

アリーナ1周年　スポーツフェスタ

体を動かす楽しさを体験してもらおうと、藤井町の「東京エレクトロン韮崎アリーナ」（韮崎中央体育館）で10月17日、「スポーツフェスタ２０２６」が開かれた。子どもから大人まで楽しめるスポーツが企画され、多くの家族連れなどでにぎわった。（写真）



このイベントは、東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ株式会社が、同体育館のネーミングライツ（命名権）を取得して1周年の記念に主催したもので、同施設の管理運営を行うミズノスポーツサービス株式会社が共催した。

同日は、サッカーボールやピンポン球を使った的当てゲームをはじめ、テニスや卓球の要素を併せ持つ米国発祥のスポーツのピックルボール、５００歩という歩数制限で競う新感覚のコミュニケーションサッカー、スポーツフェンシングといった多様なスポーツが行われたほか、未就学児を対象にした「親子deミニ運動会」、エアロビクスやヨガの教室もあり、老若男女が参加した。

短信

愛育会が県知事賞

韮崎市愛育会（山本幸子会長ほか29人）は、10月27日、市役所を訪れ、山梨県愛育大会（山梨県、山梨県愛育連合会主催）の山梨県母子保健功労者表彰において、県知事賞の団体の部に選ばれたことを内藤久夫市長に報告した。（写真）

この県母子保健功労者表彰は、地域住民への健康づくり、子育て支援などに従事し、優れた活動に取り組んできた個人や団体を表彰しているもので、１９５９年から毎年行われている。



県愛育大会は、10月16日に甲府市の県立文学館講堂で開かれ、県知事表彰の個人の部に７人と団体の部に２団体、県愛育連合会長表彰には個人８人が表彰された。

報告会で山本会長は、「愛育会は市の健康づくり課の保健士さんとともに両輪で活動している。表彰されて身の引き締まる思い。愛育会の活動をより多くの人に理解していただけるように、今後も取り組んでいく」と喜びを語り、内藤市長は、「30年間、愛育会の会員が情熱を持って、しっかりとつないできた成果だと思う」と激励した。

昭和のあそび体験

昭和時代の日本の遊びを体験してもらおうと、韮崎市民俗資料館と韮崎市中央公民館は、10月18日、「にらみんで秋まつり」を民俗資料館敷地内で開き、多くの家族連れでにぎわった。（写真）



当日は、けん玉やだるま落としなどの昔の遊びのほか、竹製の弓矢で的を射る「狩り体験」や「Ｙ」の形に加工した木製のパチンコで厚紙を飛ばす「的当て」などの体験も用意され、子どもたちは保護者やスタッフから遊び方を教えてもらっていた。

富士見から親子で参加した中嶌拓哉さん（36）は、「室内ではできない遊びや自分が子どもの頃にやっていた遊びがあって、親子で夢中になりました」といい、悠和さん（３）は、「お友だちと輪投げができて楽しかった」と話した。

柳原神社例大祭

中田町の柳原神社（貝瀬精明宮司）で、10月18日、水難防除や五穀豊穣、家内安全などを願う「柳原神社例大祭」（同実行委員会主催）が開かれ、多くの地域住民でにぎわった。

当日は、柳原神社氏子総代会などの関係者約30人が出席し、貝瀬宮司による神事が行われた後、地元の若者で構成する「小田川祭青年」（古屋一知、藤巻大仁頭取）の19人が、「おいしょ、めいしょ」のかけ声とともに神輿を担いで、町内約９㌔を練り歩いた。

また、境内にある高さ約１・５㍍、直径約２・５㍍の土俵に地域の子どもたち約40人が集まり、東と西に分かれて力強い相撲を行い、保護者たちは「がんばれ」や「負けるな」と声援を送っていた。（写真）



閉会後、新藤快人大総代は、「今年から大総代の大役を担い、初めての例大祭だったので、無事に終えることができて良かった。祭りの古き良き習慣を大切にしながら、新しく良いものは取り入れて、祭りを改善していく」と話した。

駅そば
うまい・やすい・早い
三拍子
甲府北口店、韮崎駅、長坂駅
小淵沢駅、富士見駅
駅弁の丸政
お弁当・料理を承ります。
スタッフ募集中
お気軽にお問い合わせ下さい。
Tel 0551-36-2521

韮崎市の誕生を祝う

見どころ、食べごろ満喫

「喜びや感動を共有する」をテーマに韮崎市制施行72周年を祝う「市最大級のお祭り」という「韮崎市制祭」が、10月11日、JR韮崎駅南側の駅前中央通りと本町通りの計約1・3キロを歩行者天国にして開かれ、多くの来場者がダンスや音楽ライブ、グルメなどを楽しんだ。

市制祭には、吹奏楽やダンスなどを披露する音楽エリアや約30の飲食店が並ぶグルメエリア、市内6つのワイナリーのワインを味わえるワインエリアなど5つのエリアが用意された。



浅草サンバカーニバルが、駅前中央通りを練り歩いた

当日は「浅草サンバカーニバル in Nirasaki」が、昨年に続き駅前中央通りのガード近くから甲府信用金庫韮崎支店までの約500メートルで披露され、華やかな衣装を身にまとったダンサーによる軽快な踊りとバンドによる打楽器演奏で来場者を楽しませた。

また、除雪車や高所作業車、はしご車などの「働く車」の乗車体験には、多くの親子が列をつくり、人気を集めていた。

甲斐市から来場したという石川裕貴さん（42）は「天気に恵まれ、韮崎産ワインやサンバを楽しめて、最高な1日でした。子どももショベルカーの操作を体験して貴重な時間でした」と話した。

園児が環境問題学ぶ

ゲーム感覚でごみを回収



ゲームをしながらごみの分別を学ぶ園児

園児にごみ問題について知ってもらおうと、10月26日、若宮の韮崎カトリック白百合幼稚園（依田恵美子園長）で年長児47人を対象にした「環境学習会」（韮崎市主催）が開かれ、絵本の読み聞かせやゲームを通して自然環境やごみの分別への理解を深めた。

この環境学習会は、幼少期から自然環境やごみ問題について学ぶきっかけにしようと、2013年から行われているもので26日から来年1月13日の期間で、市の職員が市内の保育施設6園を巡回するとしている。

当日は、山梨県地球温暖化防止活動推進員の清水雅美さんを講師に迎え、「あるひくじらがやってきた」の絵本を読み聞かせが行われ、ごみであふれた海でくじらが生きていけなくなってしまう物語を紹介し、「ごみをどこにでも捨ててしまうと、みんな暮らすことができなくなってしまいます」と語った。

続くゲームでは、海をイメージしたブルーシートの上にペットボトルや空き缶などのごみのイラストが置かれ、園児たちは釣りざおを使ってごみを釣り上げて回収し、「プラスチック」、「ペットボトル」、「カン」と書かれたごみ箱に分別した。

参加した森崎天晴さん（6）は、「ごみはごみ箱にちゃんと捨てるようにします。海をきれいにしてクジラや魚が生きられるようにしたい」と話した。

不登校の実体験

フォーラム開催

不登校の児童や生徒について考える「韮崎市不登校フォーラム」（韮崎市教育委員会、韮崎市主催）が、10月25日にササキニコリ（旧韮崎市民交流センターニコリ）で開かれ、不登校経験者やその親が実体験を紹介し、参加者約60人が不登校への理解を深めた。今回で2回目。（写真）

このフォーラムは、不登校について当事者の問題ではなく、みんなの問題としてとらえて、市民や地域ぐるみで支える機会にしようと企画されたもので、本町にある市の教育支援センター「かがやき教室」の卒業生と卒業生の母親を迎えた。



登壇した卒業生は、田中栄美留さん（サンテクノカレッジ1年）、斉藤瑠人さん（県立甲府工業高校定時制2年）、加藤真梨亜さん（都留文科大学1年）の3人で「不登校だった経験は私の誇り。自分しか体験のできないことをして、成長することができた」や「チャレンジする心を持って受験勉強に全力で取り組み、合格できた」、「今は辛くても、これからどんな人と関わるかで可能性は広がる」などと話した。

また、斉藤さんの母親の美沙さん（38）は、「自分だけでなく、周囲の人たちが悩みを共有してくれたことで、息子や不登校と向き合う強さ、勇気をもらえた」と話した。

このほか、かがやき教室や市立韮崎北東小学校内にある教育支援センター、市民団体「にらさき不登校親の会すばる」の3団体による支援活動や活動報告が行われた。

こまい こどもクリニック
乳幼児～高校生まで受診可
診察時間　月 火 水 木 金 土 日・祝
8:30~12:00　● ● ● ● ● ● 休
14:00~15:00　◆ ◆ ◆ 休 ◆ 休 休
15:00~18:00　● ● ● 休 ● 休 休
●一般診療　◆予防接種・乳児健診
※土曜日は 8：30～12：00
休診日：木曜午後、土曜午後・日・祝日
〒407-0262　韮崎市中田町中條 1642-4
国道 141 号線　道の駅にらさき南 300m
TEL.0551-45-6033（代表）
0551-45-6032（予約専用）
ホームページはこちらから

電気設備工事・設計施工　東京電力登録 No. 806-1027
FUKUI DENKI CO.,LTD.
株式会社福井電気
本　社　〒408-0033 山梨県北杜市長坂町白井沢3077-14
北杜営業所　〒409-1502 山梨県北杜市大泉町谷戸1873-3
TEL：0551-45-9230/FAX：0551-45-9231

中古車高値買取キャンペーン
カーショップガーデン
株式会社ガーデン
〒400-0107 甲斐市志田 606-1
Tel:0551-45-9016
営業時間：10：00～19：00　定休日：水曜日、第4日曜日
インスタグラム　ホームページ

正社員募集中
詳しくは下記電話番号へ
アスファルト 舗装・施工
有限会社
若月建設
山梨県知事　般 -6 第 7543 号
代表 若月重仁
〒407-0055
山梨県韮崎市清哲町青木2115
TEL0551-45-8107
FAX0551-45-8129

「味・健康・安全」…そのこだわりを商品化する
（甘味料・調味料・調味液・品質保持剤・健康食品）
食添GMP登録　JAS認定工場
ツルヤ化成工業株式会社
本社　〒407-0033 山梨県韮崎市竜岡町下条南割 995-400
TEL：0551-23-0330　FAX：0551-22-9988
営業本部　〒252-0144 神奈川県相模原市緑区東橋本 1-5-10
TEL：042-770-8131　FAX：042-770-2825

ペットのご供養・火葬 ペットセレモニーあさひ
大切な家族とのお別れをご一緒に
お寺が運営する韮崎のペット葬送専門店です
詳しくはこちら
移動火葬車にて出張のご供養にも対応いたします
☎0551-37-4054
（受付 10:00-16:00）
韮崎市旭町上條南割 3022

永代供養付樹木葬型個人墓
永代霊廟 筵恩内
36 区画
残り 9 区画
1 区画 36 万円～（名板代込み・文字入れ代別）
※区画予約金不要
向富山 蔵前院
（韮崎駅から徒歩 5 分）
韮崎市中央町 6-8
お墓に関するお問い合わせは
090-7522-6136

毎週火曜日
経営者モーニングセミナー開催
参加無料
11月の講演内容　とき AM6:00～7:00　ところ 韮崎市商工会館
11/10「僕のヒーロー」 栃木県倫理法人会 法人レクチャラー（有）イー・アンド・エス 代表取締役 金田 光央様
11/17「武田勝頼～父信玄とは異なった戦略眼～」 武田氏研究会 事務局長 半澤 史直様
11/24「一歩目は『ノリ』。～自分軸で動き、成長する～」 フォネットグループ 常務取締役 稲山 悟史様
経営者の集い 会場：韮崎市商工会館 時間：午後6時30分～（参加無料）
11/9(月)「会社は変えない、自分を変える」 法人レクチャラー 金田 光央様
「明朗」「愛和」「喜働」の実践
韮崎市倫理法人会
参加される方は事前にご連絡下さい
☎080-4250-1242（青山）

韮崎市 ホームタウンゲーム
超克 CHOKOKU
すべてを超えてプレミアへ！
チケット情報はこちら
会場 東京エレクトロン 韮崎アリーナ
11.21 SAT
11.22 SUN
TIP OFF 13:00
VS
山梨クィーンビーズ vs 広島イーグレッツ
問合せ 0551-45-9904　平日10:00～16:00